

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>【国語】</p> <p>○漢字の読み書きについては、定期的な漢字テスト実施から定着してきた生徒が増えている。</p> <p>▽文学的文章における登場人物の心情の読み取りを苦手とする生徒が多く、叙述を基に正確に読み取ることに課題がある。</p>	<p>●漢字の読み書きを繰り返し行い、より一層の定着を図っていく。</p> <p>▼授業内で文章問題を多く取り扱い、文学的文章の読解の方法を学んでいく。</p>
<p>【数学】 基本的な問題を理解している生徒が増えている一方、応用の文章問題への理解度が低い部分がある。</p>	<p>単元テストを実施し、その都度の理解力を把握を行い、授業内では、文章問題に触れる機会や、学び合いを中心に説明をする機会を増やしていく。</p>
<p>【理科】</p> <p>○記述式の小テストを行うことで、生徒の思考力、判断力、表現力等を向上させる取組を行った。</p> <p>▽まだ分野によって理解度に差がある。特に計算問題に苦手意識があるので、基本的な問題から取り組ませる。</p>	<p>●記述式の小テストや語句の小テストを定期的実施し、基礎学力の定着をさせつつ、応用問題にも触れていく。</p> <p>●実験結果を基に、生徒自らが進んで考える時間を多く設け、思考力の定着を図っていく。</p>
<p>【社会】</p> <p>○小テストや単元テストを実施することで、生徒に学習事項の復習を促し、知識を定着させる取組を行った。</p> <p>○デジタル教科書や大型ディスプレイの活用によって、生徒が視覚的にも学習内容を理解し、興味をもてるような授業を実施した。</p> <p>▽記述や資料分析など、思考力を必要とする問題や課題を苦手とする生徒が多く、自分の考えを上手く言語化させられるような教科指導が必要である。</p>	<p>●継続して小テストや単元テストを実施する。</p> <p>●ワークやドリルパークなどの自宅学習にも積極的に取り組ませ、知識定着を徹底する。</p> <p>●映像資料を豊富に活用し、授業内容を生徒が深く理解できるような教科指導を継続する。</p> <p>▼授業に「なぜ」、「どうして」という視点を重視した資料の読み取りを多く取り入れ、思考力の向上を図る。</p>
<p>【英語】</p> <p>○日頃のアクティビティー等により、英語を話すことに抵抗がない生徒が多い。</p> <p>○学力向上を図るための調査において、区平均点よりも高い結果を得ることができた。</p> <p>▽リスニングを不得意とする生徒が多く、記号解答以外の問題に対しての練習がさらに必要である。</p>	<p>●バランスよく4技能を身に付けさせるため、リスニングと「書くこと」を取り入れたアクティビティーを継続する。</p> <p>▼リスニングでは、シャドーイングを行い、聞き取る力を強化し、併せてディクテーションを行う。また、英問英答を重点的に行い、答え方のノウハウを学ばせる。</p>